

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	ピノキオ幼児舎桃井保育園
法人名	株式会社ピノコーポレーション
法人所在地	杉並区上荻 4-29-15 さくら上荻ビル2階

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

米

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

毎日食べているご飯は、子どもにとって最も身近な食材である。定期的に行っている食育活動の中で、お米をテーマにした際に、昔の人たちのお米の育て方や田植え～収穫までにどのような作業があるのか関心を示していたため、「米」をテーマとして設定する。園庭がない環境でも、米がどのようにできるのか成長を観察し、子どもたちの興味関心をさらに深める。

## 2. 活動スケジュール

5月 米の育て方を知り、種まきをする。  
5月～10月 稲の観察。(水やり、雑草取り)  
9月 稲刈りをする。(ZOOM視聴)  
10月 脱穀する。  
11月 精米する。  
1月 おにぎり作りをする。

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・米農家の職員の家族に米作りの動画や写真を送ってもらい、プロジェクターで視聴できるようにした。
- ・敷地内の日の当たるスペースにバケツを設置し、登降園時や水遊び時、戸外活動前に観察できるようにした。
- ・稲刈りを千葉県たがやす倶楽部、精米の様子を見学できるよう田崎商店に行った。

準備した道具

- ・バケツ・支柱・防虫ネット・種・土・肥料・牛乳パック・軍手・プロジェクター・スピーカー・食べ比べ用の米・バス

### 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

5月に米の育て方を職員の家族の米農家から動画や写真を見せてもらったり、米の作り方を調理師から聞き、種まきをした。4,5歳児クラスで行い、通りがかり興味を持った3歳児クラスの子も土に触れた。10月まで水やり、雑草除去を必要時に行い、稲の観察をする。9月千葉県たがやすクラブのたんぼに5歳児が稲刈りに行く。0～4歳児は、プロジェクターを使用し、ZOOMで中継を繋いで視聴する。10月刈った稲を牛乳パックを使って脱穀する。誤飲の恐れがあるため、0,1歳児は、バケツ稲を見た後、脱穀の様子の動画を保育室で視聴した。11月4,5歳児で田崎商店にて精米の様子を見学する。1月0～5歳児で各学年の発達に合わせておにぎり作りをする。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

日々、食事の中で、「ご飯っておいしいよね。」「お米ってどこで作っているの?」と子どもたちが話していた。

5月、4,5歳児クラスで米作りについて調理師の話や米農家の米作りの動画や写真を見るとトラクターの音に驚いたり田んぼの大きさに驚いていた。バケツに種をまく時に土がかなり水気があり少し戸惑っていたが、触ってみると感触がおもしろかったようで笑顔で種まきをしていた。少し土に触れただけで泥がついたことに驚き、「お米つくりって汚れるのかな」と不思議そうにしていた。

5～10月、必要に応じて水やり、雑草除去を行い、観察する。1歳児がバケツ稲を観察していると穂が付いている事に気がつき、指をさしていた。「米が付いてきたね」と保育者が話すと「米?」と話していた。

9月、5歳児が千葉県たがやす倶楽部へ稲刈りに行った。0～4歳児で稲刈りの様子をZOOMで見た。「なにしているの」「すごいね」等と言い、保育者が何をしているのか説明をすると真剣に映像を見ながら、「お米の葉っぱって大きいんだね」と言う子どももいた。

10月、牛乳パックを使って脱穀をした。1時間以上行ったが飽きる子どもはおらず、最後まで黙々と作業していた。落ちていた米粒に気がつく、「まだ食べられない?」と食べられるかどうか気にしていた。

1月、おにぎりを作り、職員の家族の農家が作った米と食べ比べもした。5歳児が「稲刈りをした米の方がプチプチしていて美味しい。」と言っていた。4歳児は、「良く噛んで食べると甘い。」と言う子どもや、「あんなに頑張ってるのに量が少ない。」と驚く子どもがいた。

2.3歳児は、紙コップの中に入れおにぎり作りを行った。紙コップを縦や横に振り「たのしい」「おにぎりできるの?」と言っていた。食感や甘さ等の違いに気づき、普段より笑顔で美味しそうに食べる子どもが多かった。活動が終わってからも「おにぎり美味しかったよね」と話したり「これはどのお米なんだろう?」と興味を持ちたりしていた。

0.1歳児は、保育者がおにぎりをゴマの上に転がす様子を見て積極的に触れてみようとし、慣れてくると楽しそうに食べ進めていた。「ん〜」と美味しそうに声を出し、手を握りながら米の感触を楽しむ姿も見られた。高月齢児はおにぎりの形の違い(丸と三角)に気づき、見比べていた。

保護者会で保護者に活動を共有すると家庭でも「おにぎりを作った。」「お米が大きくなった。」と話していたと言っていた。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

米を栽培するにあたり、田んぼを見たこともない子どもも多くいたが、動画や写真を通して田んぼを見たり、実際に田んぼに行くことで米はどのようにして育つのかを知り、より身近に感じられたのではないかと思う。バケツ稲を敷地内の玄関先に設置することで登降園時や戸外活動時に見ることができ、稲の成長と共に子どもたちの興味も深まり気づいたことを話していた。環境設定の仕方子どもたちが関心興味を持つきっかけとなり自主的な活動に繋がるため、今後も環境設定や子どもたちから発信されることを大切にしていく。また、作った米でおにぎりを作って食べるとおにぎりの大きさを見て「これしかできなかった。」とおにぎり一つを食べることは簡単なことではないと気づく子がいた。食べられることに感謝し、大切に食べられるような活動を今後も取り入れていく。